

平成 21 年 **2 月 28 日 (土)** 受付 13:00 から
13:30 ~ 16:50

岡山市デジタルミュージアム 4 階講義室 岡山駅中央口から
連絡通路徒歩 1 分

定 員 : 80 名 (聴講無料、予約不要)

事例報告 (13:30 - 15:25) ★は学校での実践事例 ☆は美術館等での実践事例

- ★ 小学校における児島湾干拓絵図を活用した授業の実践
木下 浩 (岡山市立第一藤田小学校・教諭)
- ★ 高等学校における岡山城下町絵図を活用した授業の実践
秋山 亮 (岡山県立鳥城高等学校・教諭)
- ☆ N*CAP (エヌ・キャップ)
— 鳴門教育大学+鳴門市+大塚国際美術館の連携による取り組み —
山田芳明 (鳴門教育大学大学院学校教育研究科・准教授)
- ☆ 文化財を楽しむための子ども向けワークショップ
— 岡山後楽園、美術館での取り組み —
赤木里香子 (岡山大学大学院教育学研究科・准教授)

共同討議 (15:30 - 16:50)

事例報告発表者による共同討議

進行 山口健二 (岡山大学大学院教育学研究科・准教授)

主催 ● 岡山大学教育学部、岡山大学附属図書館

共催 ● 岡山大学ユネスコチェア

- 対象 -
小中高の教員
大学の教職員
学芸員の他

文化財の
複製を用いた
教育に興味の
ある方

教育シンポジウム

文化財の複製を 活用した教育普及を 考える



岡山大学では地域の
こどもたちが大学図書館所蔵の
池田家文庫絵図 (江戸時代の岡山を
記録した絵や資料) の複製に触れたり、
アート・造形を体験する活動を行っています。

2007 年からは「岡山大学ユネスコチェア」の
採択事業となりました。シンポジウムでは
地域の文化財の複製を活用した教育
事例を紹介し、共同討議で
共に考えます。

